年間授業計画

高等学校 令和7年度（1学年用）　教科　国語　科目　現代の国語

教　科：　国語　　科　目：　言語文化　　単位数：　3　単位

対象学年組：第　1 学年　A 組～　G 組

教科担当者：（Ａ組：谷合）　（Ｂ組：森田）　（Ｅ組：森田）　（Ｆ組：谷合）　（Ｇ組：谷合）

使用教科書：（　新編　現代の国語（東京書籍）　）

教科　国語　　の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し、適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目　現代の国語　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を理解する。 ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句を身につける。	・語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して語感を磨く。 ・語彙を豊かにする。	・身につけた知識や語彙を積極的に利用して作文や発表をする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 話・聞	書	読	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	・石田英敬 『未来をつくる想像力』 【知識及び技能】 本文に使われている語句や表現を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 想像力が未来に与える影響を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 本文で学んだ語句や表現を活用して自分の意見を発表できる。	・教材 教科書、ノート、ワークシート、漢字ボックス ・指導事項 ○筆者の主張を正確に理解する。 ○本文に使われている語句や表現の意味を理解する。 ○正確に音読する。 ○重要事項ノートにまとめる。	○	○	○	・筆者の主張を説明することができる。 ・本文中の語句の意味を正確に理解している。 ・本文中の語句を利用して作文することができる。	○	○	○	8
	定期考査						○	○		1
	山崎正和 『水の東西』 【知識及び技能】 本文に使われている語句や表現を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 東と西の水の違いについて理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 本文で学んだ語句や表現を活用して自分の意見を発表できる。	・教材 教科書、ノート、ワークシート、漢字ボックス ・指導事項 ○筆者の主張を正確に理解する。 ○本文に使われている語句や表現の意味を理解する。 ○正確に音読する。 ○重要事項ノートにまとめる。	○	○	○	・筆者の主張を説明することができる。 ・本文中の語句の意味を正確に理解している。 ・本文中の語句を利用して作文することができる。	○	○	○	10
	定期考査						○	○		1
2学期	・鈴木菜々子 『鍋洗いの日々』 【知識及び技能】 本文に使われている語句や表現を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の道を切り開いた自身の体験談から筆者の仕事に対する考え方を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 本文で学んだ語句や表現を活用して自分の意見を発表できる。	・教材 教科書、ノート、ワークシート、漢字ボックス ・指導事項 ○筆者の主張を正確に理解する。 ○本文に使われている語句や表現の意味を理解する。 ○正確に音読する。 ○重要事項ノートにまとめる。	○	○	○	・筆者の主張を説明することができる。 ・本文中の語句の意味を正確に理解している。 ・本文中の語句を利用して作文することができる。	○	○	○	8
	定期考査						○	○		1
	高階秀爾 『美しさの発見』 【知識及び技能】 本文に使われている語句や表現を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 「美しさ」を知ることが心の世界の広がりを保証することであるという主張を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 本文で学んだ語句や表現を活用して自分の意見を発表できる。	・教材 教科書、ノート、ワークシート、漢字ボックス ・指導事項 ○筆者の主張を正確に理解する。 ○本文に使われている語句や表現の意味を理解する。 ○正確に音読する。 ○重要事項ノートにまとめる。	○	○	○	・筆者の主張を説明することができる。 ・本文中の語句の意味を正確に理解している。 ・本文中の語句を利用して作文することができる。	○	○	○	10
	定期考査						○	○		1
3学期	鷲田清一 『真の自立とは』 【知識及び技能】 本文に使われている語句や表現を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 筆者の考える「自立」の意味を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 本文で学んだ語句や表現を活用して自分の意見を発表できる。	・教材 教科書、ノート、ワークシート、漢字ボックス ・指導事項 ○筆者の主張を正確に理解する。 ○本文に使われている語句や表現の意味を理解する。 ○正確に音読する。 ○重要事項ノートにまとめる。	○	○	○	・筆者の主張を説明することができる。 ・本文中の語句の意味を正確に理解している。 ・本文中の語句を利用して作文することができる。	○	○	○	10
	定期考査						○	○		1

年間授業計画

高等学校 令和７年度（１学年用） 教科 社会・公民 科目 公共

教　科：　社会・公民　　科　目：　公共　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　1　学年　A　組～　G 組

教科担当者：　全組・青柳将也

使用教科書：　（　高等学校　公共　【第一学習社】　）

教科　社会・公民　の目標：

【知識及び技能】　広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。

【思考力、判断力、表現力等】　人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、思考力、判断力、表現力等を育成することを目指す。

【学びに向かう力、人間性等】　現代社会が抱える諸課題について主体的に学び、考え、自らのキャリアに生かそうとする姿勢を育成することを目指す

科目　公共　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	現代社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
2学期	A 持続可能な社会づくりの主体となる私 【学びに向かう力、人間性等】 ニュースを主体的に収集し、そのニュースを通して社会課題を見出だして考察した結果や自らの考えを、積極的に発表・説明することができるようにする。	・一人１台端末の活用 （毎授業の導入に位置づけ） ○ニュースを読む、活用する、考察する、共有する	【主体的に学習に取り組む態度】 地域の創造，よりよい国家・社会の構築及び平和で安定した国際社会の形成へ 主体的に参画し，共に生きる社会を築くという観点から課題を見いだし，その課題の解決に向けて事実を基に協働して考察，構想し，妥当性や効果，実現可能性などを指標にして，論拠を基に自分の考えを説明，論述することに対し、積極的に取り組むことができる。			○	0
	B 法的な主体となる私たち 【知識・技能】 憲法を最高法規とする「法の支配」を基にした法体系における適正な手続きに則り、法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し、紛争の調停や解決を通して、基本的人権、権利、自由が保障・実現され、社会秩序が形成・維持されていくことについて理解することができるようにする。 【思考・判断・表現】 法や政治、経済など、現代社会の諸課題を関連付け、自ら率先して具体的な主題を設定し、様々な観点から多角的に捉えるとともに、解決に向けて事実を基に協働して考察したことを、論拠をもって表現することができるようにする。	・指導事項 ・教材、パワーポイント ・一人１台端末の活用　等 ○法とは ○基本的人権と公共の福祉 ○新しい人権 ○契約と消費者問題 ○司法制度 ○国民の司法参加	【知識・技能】 法や規範の意義及び役割，多様な契約及び消費者の権利と責任，司法参加の意義などに関わる現実社会の事柄や課題を基に，憲法の下，適正な手続きに則り，法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し，個人や社会 の紛争を調停，解決することなどを通して，権利や自由が保障，実現され，社会の秩序が形成，維持されていくことについて理解することができる。 【思考・判断・表現】 法，政治及び経済などの側面を関連させ，自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し，合意形成や社会参画を視野に入れながら，その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを，論拠をもって表現することができる。	○	○		13
	C 政治的な主体となる私たち 【知識・技能】 政治や国際関係、安全保障など現代社会の事柄や課題を基に、より良い社会は、憲法の下で個人が議論に参加し、意見や利害の対立状況を調整して合意を形成することなどを通して築かれるものであることについて理解することができるようにする。 【思考・判断・表現】 法や政治、経済など、現代社会の諸課題を関連付け、自ら率先して具体的な主題を設定し、様々な観点から多角的に捉えるとともに、解決に向けて事実を基に協働して考察したことを、論拠をもって表現することができるようにする。	・指導事項 ・教材、パワーポイント ・一人１台端末の活用　等 ○日本の選挙制度 ○日本の政治 ○国会、内閣 ○地方自治、地方分権 ○国際社会の諸問題 ○領土問題 ○国際連合と国際平和 ○日本の安全保障 ○核兵器の廃絶	【知識・技能】 政治参加と公正な世論の形成，地方自治，国家主権，領土（領海，領空を含む。），我が国の安全保障と防衛，国際貢献を含む国際社会における我が国の役 割などに関わる現実社会の事柄や課題を基に，よりよい社会は，憲法の下，個人が議論に参加し，意見や利害の対立状況を調整して合意を形成することなどを通して築かれるものであることについて理解することができる。 【思考・判断・表現】 法，政治及び経済などの側面を関連させ，自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し，合意形成や社会参画を視野に入れながら，その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを，論拠をもって表現することができる。	○	○		13
	定期考査			○	○		2
3学期	A 持続可能な社会づくりの主体となる私 【学びに向かう力、人間性等】 ニュースを主体的に収集し、そのニュースを通して社会課題を見出だして考察した結果や自らの考えを、積極的に発表・説明することができるようにする。	・一人１台端末の活用 （毎授業の導入に位置づけ） ○ニュースを読む、活用する、考察する、共有する	【主体的に学習に取り組む態度】 地域の創造，よりよい国家・社会の構築及び平和で安定した国際社会の形成へ 主体的に参画し，共に生きる社会を築くという観点から課題を見いだし，その課題の解決に向けて事実を基に協働して考察，構想し，妥当性や効果，実現可能性などを指標にして，論拠を基に自分の考えを説明，論述することに対し、積極的に取り組むことができる。			○	0
	B 経済的な主体となる私たち 【知識・技能】 経済、労働、社会保障、国際経済など現代社会の事柄や課題を基に、公正かつ自由な経済活動を行うことを通して、効率的な資源配分・市場経済を図り、活発な経済活動と個人の尊重の両立させることの必要性や国民福祉向上に向けた政府の役割について、理解することができるようにする。 【思考・判断・表現】 法や政治、経済など、現代社会の諸課題を関連付け、自ら率先して具体的な主題を設定し、様々な観点から多角的に捉えるとともに、解決に向けて事実を基に協働して考察したことを、論拠をもって表現することができるようにする。	・指導事項 ・教材、パワーポイント ・一人１台端末の活用　等 ○経済とは ○労働問題 ○経済発展と技術革新 ○企業の活動 ○市場経済 ○経済成長と国民福祉 ○金融のはたらき ○財政と租税 ○社会保障 ○国際分業と国際貿易 ○国際金融と為替 ○経済のグローバル化 ○国際経済の諸問題	【知識・技能】 職業選択，雇用と労働問題，財政及び租税の役割，少子高齢社会における社会保障の充実・安定化，市場経済の機能と限界，金融の働き，経済のグローバ ル化と相互依存関係の深まり（国際社会における貧困や格差の問題を含む。） などに関わる現実社会の事柄や課題を基に，公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分が図られること，市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解することができる。 【思考・判断・表現】 法，政治及び経済などの側面を関連させ，自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し，合意形成や社会参画を視野に入れながら，その主題の解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを，論拠をもって表現することができる。	○	○		13
	定期考査			○	○		1
							小計 42

年間授業計画

高等学校 令和７年度（１学年用） 教科 数学 科目 数学Ⅰ

教 科： 数学 科 目： 数学Ⅰ 単位数： 3 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組 B 組 E 組 F 組 G 組

教科担当者：吉田 加藤木 川畑 小山

使用教科書： （ 高校数学Ⅰ・実教出版 ）

教科 数学 の目標：

【知識及び技能】数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】数学を活用して事象を論理的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】数学のよさを認識できるようにするとともに，それらを活用する態度を育てる。

科目 数学Ⅰ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式，図形と計量，２次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	命題の条件や結論に着目し，数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力，図形の構成要素間の関係に着目し，図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力，関数関係に着目し，事象を的確に表現してその特徴を表，式，グラフを相互に関連付けて考察する力，社会の事象などから設定した問題について，データの散らばりや変量間の関係などに着目し，適切な手法を選択して分析を行い，問題を解決したり，解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	数と式 式を扱うための基本的な用語や計算方法について理解する。また，式を1つの文字に着目して整理したり，1つの文字におき換えたりするなど，目的に応じた式の見方ができるようにし，既に学習した計算方法と関連付けるなど，式を多面的に捉える力を培う。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用 等 ○数と式 ○多項式の加法と減法 ○多項式の乗法 ○因数分解 ○実数	【知識・技能】 単項式や多項式，同類項，次数など式に関する用語を理解し、加法や減法などの計算ができる。指数法則や分配法則を用いて計算ができる。公式を理解し、展開や因数分解ができる。共通因数をくくり出して因数分解ができる。 【思考・判断・表現】 少し複雑な式の計算を工夫して行うことができる。式を１つの文字におき換えたり，積の組み合わせを工夫したりすることで，式の展開を簡略化することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 単項式，多項式とその整理の仕方に関心をもち，考察しようとする。式変形の工夫について，その理由を振り返って考えたり，どの文字で整理するかなど，よりよい因数分解の方法について考察したりしようとする。	○	○	○	30
	定期考査			○	○		2
	２次関数 ・関数とそのグラフについて理解する。また，２次関数のグラフの特徴について，頂点の平行移動と関連付けて理解し，２次関数のグラフがかけるようにする。２次関数の最大値，最小値をグラフを用いて求められるようにし，それを様々な事象の考察に活用できるようにする。また，条件から２次関数を決定できるようにする。 ・２次方程式の解について考察し，それを２次関数のグラフとx軸の交点と関連付けて考えることができるようにする。 ・２次不等式も２次関数のグラフとx軸の関係から考察し，２次不等式が解けるようにする。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用 等 ○２次関数とグラフ ○２次関数の最大値・最小値 ○２次方程式 ○２次不等式	【知識・技能】 ・関数の定義を理解し，関数を式で表すことができる。関数のグラフの意味を理解している。放物線の軸，頂点などについて理解し，２次関数y＝ax2のグラフをかくことができる。 ・２次方程式を，因数分解や解の公式を利用して解くことができる。解についての条件が与えられた２次方程式について，判別式を用いて定数の値や値の範囲を求めることができる。 ・２次方程式を，因数分解や解の公式を利用して解くことができる。２次関数のグラフとx軸の共有点の座標を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ・放物線の平行移動を，頂点の移動に着目して考察できる。放物線の平行移動について，x軸方向，y軸方向などの用語を用いて表現できる。最大値・最小値を求めることができる。 ・２次方程式の解の公式と判別式との関係を理解し，解の判別に利用できる。２次方程式の解の公式と判別式との関係を理解し，解の判別に利用できる。 ・２次方程式の解の公式と判別式との関係を理解し，解の判別に利用できる。解がない場合など特別な場合も含めて，２次関数のグラフを用いれば２次不等式を解くことができる。２次関数のグラフとx軸の共有点の位置について，グラフを利用して解決できる。	○	○	○	21

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
2学期			【主体的に学習に取り組む態度】 ・グラフの平行移動，対称移動の一般公式の意味を考察したり，それを活用してグラフの方程式を求めたりしようとする。最大値，最小値の条件から関数や定義域を自由に定め，それらから一般的な性質を導き出そうとする。 ・２次方程式を解くことができる。２次方程式の解を考察するのに，２次関数のグラフを積極的に利用しようとする。放物線の頂点のy座標と判別式の関係について，グラフとx軸の共有点の個数をもとに考察することができる。 1次の係数が2b’である２次方程式の解の公式を積極的に利用しようとする。２次方程式の解を考察するのに，２次関数のグラフを積極的に利用しようとする。 ・２次方程式の解を考察するのに，２次関数のグラフを積極的に利用しようとする。1次不等式と1次関数の関係をもとに，２次不等式と２次関数の関係を考察しようとする。				
	【三角比】 三角比の意味やその基本的な性質について理解し，三角比を用いた計量を行うなど，三角比を事象の考察に活用できるようにする。正弦定理，余弦定理について理解し，それらを適切に用いて三角形の辺や角を求められるようにし，あわせて三角形の面積も求められるようにする。また，これらのことを空間図形を含む様々な事象に活用できるようにする。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等 ○三角比 ○三角比の利用 ○三角比の相互関係 ○正弦定理・余弦定理 ○正弦定理・余弦定理の利用	【知識・技能】 三角比の定義を理解し，直角三角形において正弦・余弦・正接を求めることができる。三角比の相互関係を利用して，三角比の1つの値がわかっているとき，残りの2つの値を求めることができる。90°－θの三角比の公式を利用して，ある角の三角比を別の角の三角比で表すことができる。鈍角の三角比を鋭角の三角比で表すことができる。 【思考・判断・表現】 具体的な事象における長さや角度について，三角比を用いて捉え，三角比の値からそれらを求めることができる。3つある三角比の相互関係のそれぞれをどのような場面で用いるか判断することができる。角の値によって三角比の値がどのように増減するか，適切に表現できる。 【主体的に取り組む態度】 三角比の値が三角形の大きさによらず，角の大きさだけで定まることに関心をもつことができる。三角比の相互関係を，三角比の定義や三平方の定理などから導出しようとする。正弦定理、余弦定理を証明しようとする。				
	定期考査			○	○		2
	【三角比】 三角比の意味やその基本的な性質について理解し，三角比を用いた計量を行うなど，三角比を事象の考察に活用できるようにする。正弦定理，余弦定理について理解し，それらを適切に用いて三角形の辺や角を求められるようにし，あわせて三角形の面積も求められるようにする。また，これらのことを空間図形を含む様々な事象に活用できるようにする。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等 ○三角比 ○三角比の利用 ○三角比の相互関係 ○正弦定理・余弦定理 ○正弦定理・余弦定理の利用	【知識・技能】 三角比の定義を理解し，直角三角形において正弦・余弦・正接を求めることができる。三角比の相互関係を利用して，三角比の1つの値がわかっているとき，残りの2つの値を求めることができる。90°－θの三角比の公式を利用して，ある角の三角比を別の角の三角比で表すことができる。鈍角の三角比を鋭角の三角比で表すことができる。 【思考・判断・表現】 具体的な事象における長さや角度について，三角比を用いて捉え，三角比の値からそれらを求めることができる。3つある三角比の相互関係のそれぞれをどのような場面で用いるか判断することができる。角の値によって三角比の値がどのように増減するか，適切に表現できる。 【主体的に取り組む態度】 三角比の値が三角形の大きさによらず，角の大きさだけで定まることに関心をもつことができる。三角比の相互関係を，三角比の定義や三平方の定理などから導出しようとする。正弦定理、余弦定理を証明しようとする。	○	○	○	9
	【三角比】 三角比の意味やその基本的な性質について理解し，三角比を用いた計量を行うなど，三角比を事象の考察に活用できるようにする。正弦定理，余弦定理について理解し，それらを適切に用いて三角形の辺や角を求められるようにし，あわせて三角形の面積も求められるようにする。また，これらのことを空間図形を含む様々な事象に活用できるようにする。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等 ○三角比 ○三角比の利用 ○三角比の相互関係 ○正弦定理・余弦定理 ○正弦定理・余弦定理の利用	【知識・技能】 三角比の定義を理解し，直角三角形において正弦・余弦・正接を求めることができる。三角比の相互関係を利用して，三角比の1つの値がわかっているとき，残りの2つの値を求めることができる。90°－θの三角比の公式を利用して，ある角の三角比を別の角の三角比で表すことができる。鈍角の三角比を鋭角の三角比で表すことができる。	○	○	○	14

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
3学期			【思考・判断・表現】 具体的な事象における長さや角度について，三角比を用いて捉え，三角比の値からそれらを求めることができる。3つある三角比の相互関係のそれぞれをどのような場面で用いるか判断することができる。角の値によって三角比の値がどのように増減するか，適切に表現できる。 【主体的に取り組む態度】 三角比の値が三角形の大きさによらず，角の大きさだけで定まることに関心をもつことができる。三角比の相互関係を，三角比の定義や三平方の定理などから導出しようとする。正弦定理、余弦定理を証明しようとする。				
	集合と論証 集合と命題に関する基本的な概念を理解する	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等 ○集合と要素 ○命題 ○いろいろな論証	【知識・技能】 集合に関する基本的な概念を理解できる。集合を要素を並べて表すことができる。補集合、和集合、共通部分を理解できる。命題に関する基本的な概念を理解できる。否定、必要条件、十分条件、必要十分条件について理解できる。逆、対偶を作りその真偽について理解できる。 【思考・判断・表現】 和集合と共通部分の違いについて考察できる。集合と命題の関係を考察できる。真である命題の逆は必ずしも真であるとは言えないことを考察できる。 【主体的に取り組む態度】 具体的な事象を、集合を用いて表そうとしている。いろいろな文やことがらについて、命題といえるかどうかを調べようとしている。	○	○	○	6
	データの分析	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等 ○統計とグラフ ○度数分布表とヒストグラム ○代表値 ○データの散らばり ○外れ値 ○相関関係 ○仮説検定	【知識・技能】 データをグラフで表すことができる。度数分布を適切に読み取れる。代表値を求めることができる。四分位数や四分位範囲を求めることができる。外れ値を調べることができる。 【思考・判断・表現】 分析するデータによって適切なグラフがどれか考察できる。それぞれの階級を考察できる。データの散らばり具合を数値化する方法を考察できる。 【主体的に取り組む態度】 身の回りのいろいろなデータをグラフで表そうとしたり、データを整理しようとしている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		合計 96

年間授業計画

高等学校 令和7年度（１学年用） 教科　理科　　科目 科学と人間生活

教　科： 理科　　科　目： 科学と人間生活　　単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ G 組

教科担当者：（ A組：石原 ）（ B組：石原 ）（ E組：明瀬 ）（ F組：明瀬 ）（ G組：石原 ）

使用教科書：（ 科学と人間生活（実教出版） ）

教科　科学と人間生活　　の目標：

【 知 識 及 び 技 能 】自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目　科学と人間生活　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わりについて理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察・実験などに関する技能を身に付ける。	人間生活と関連のある自然の事物や現象の中に問題を見出し、見通しをもって実験・観察・調査などを行うとともに、物事を実証的・論理的に考察したり分析したりすることにより、総合的に判断し、それを表現する。	自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。自然の原理・法則や科学技術の発展と人間生活との関わりについて社会が発展するための基盤となる科学に対する興味・関心を高める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	材料とその再利用 【知識及び技能】 ・元素の種類とその表示方法（元素記号）を理解している。 ・原子を構成している要素を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・純物質の表示の仕方が２種類（単体と化合物）があることを理解している。 ・原子の構造から、原子を構成している要素を表せウことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 物質に関心をもち，物質が原子・分子・イオンなどの構成粒子からなっていることを探究しようとしてい	・物質が原子，イオン，分子から構成されていることや構成粒子の違いと物質の種類の違いを理解させる。 ・元素記号（1～20）を覚えさせる。	【知識・技能】 ・元素の種類や元素記号について理解し，説明できる。特に元素の種類を正確に元素記号で表すことができる。 ・物質は原子という小さい粒子でできていることと，原子の大きさについて理解している。また，原子の構造と陽子・中性子・電子の性質について理解している。 【思考・判断・表現】 ・元素による純物質の分類で，単体と化合物が正確に分類できる。また，分類の仕方を正確に説明できる。身近な純物質を，単体と化合物に正確に分類することができる。 ・原子の構造をもとに、原子を構成する要素を求め、正確に表すことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	【知識及び技能】 ・原子構造について，電荷や質量についても理解している。 ・原子番号と質量数の関係や同位体について理解している。 ・原子構造で，電子が存在する電子殻についてや電子配置について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・原子中の電子が電子殻に順番に格納されていくことや，最外殻電子と価電子の違いを説明できる。 ・周期表から大まかな性質が判断できる。 【学びに向かう力、人間性等】 物質に関心をもち，物質が原子・分子・イオンなどの構成粒子からなっていることを探究しようとしてい	・物質が原子，イオン，分子から構成されていることや構成粒子の違いと物質の種類の違いを理解させる。 ・電子配置について図に記入させながら理解させる。	【知識・技能】 ・原子番号と質量数の関係を理解しており，原子１個に含まれる陽子・中性子・電子の数を答えられる。 ・原子中の電子が電子殻に順番に格納されていくことを理解し，最外殻電子と価電子の違いを正確に理解している。 【思考・判断・表現】 ・原子中の電子が電子殻に順番に格納されていくことや，最外殻電子と価電子の違いを正確に説明ができる。 ・周期表から大まかな性質が判断できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 提出物を期限内に完成した状態で提出している。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1

2学期	【知識及び技能】 ・イオンの性質やイオンができる仕組みを理解している。 ・陽イオンと陰イオンが静電気的な力（クーロン力）によって引きあってできる結合をイオン結合であることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・イオンの成り立ちや性質を説明できる。また，イオンの名称の付け方も説明できる。 ・イオンからなる物質は，成分であるイオンの種類を数の比を示す組成式で表すことができ，それを理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・物質の構造は，イオン結合，共有結合，金属結合などの結合の仕方の違いに関わりがあることを，意欲的に探究しようとする。 ・それぞれの結合とその結晶について，正確に区別し探究しようとする。	・イオンの生成を電子配置と関連付けて理解し，イオン結合およびイオン結合からなる物質の性質を理解させる。 ・物質の性質の違いを結合方法と関連させて理解させる。 ・イオン式の小テストを行い、必要な式を覚えさせる。	【知識・技能】 ・イオンの生成を電子配置と関連付けて理解している。また，イオンの分類や名称の付け方も理解し，イオンの名称を正確に答えることができる。 ・陽イオンと陰イオンが結合してイオン結合を形成することとともに，これには静電気的な力（クーロン力）によって引きあってできる結合であることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・原子が電気を帯びたイオンとなることを正確に説明できる。また，イオンの名称の付け方も正確に説明できる。 ・イオン結合でできている結晶がイオン結晶でその性質を詳細に理解している。また，組成式で表されることを理解し，化合物名を正しく答えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 提出物を期限内に完成した状態で提出している。				18
	定期考査			○	○		1
	【知識及び技能】 ・分子の形成には，非金属同士が価電子を共有して共有結合になることを理解している。 ・電気陰性度は，結合の極性や分子の極性に関わりがあることが理解している。 ・分子結晶の性質や分子間力について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・共有結合がどのように形成するかを説明できるとともに，共有電子対と非共有電子対との違いを説明できる。 ・分子を表示する方法として，分子式，電子式，構造式を正しく表現することができる。 ・結合の極性の有無を判断して，分子全体の形を考え極性分子や，無極性分子ということが判断できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・物質の構造は，イオン結合，共有結合，金属結合などの結合の仕方の違いに関わりがあることを，意欲的に探究しようとする。 ・それぞれの結合とその結晶について，正確に区別し探究しようとする	・共有結合を電子配置と関連付けて理解し，分子からなる物質の性質を理解させる。さらに，分子間の結合によって物質ができていることを理解させる。 ・物質の性質の違いを結合方法と関連させて理解させる。 ・共有結合について理解させ、構造式を書けるようにさせる。	【知識・技能】 ・共有結合について理解するとともに，共有電子対と非共有電子対との違いを理解ししている。また，電子式を理解し，おもな分子について電子式で表すことができる。 ・結合の極性について理解しているとともに，電気陰性度の差の大きさに応じて結合の極性にも大小があることを理解する。また，結合の極性，分子の形と，極性分子，無極性分子の関係を理解している。極性と溶解しやすさについて理解している。 ・ファンデルワールス力と水素結合の違いやそれによって生じる性質の違いを理解している。 【思考・判断・表現】 ・共有結合がどのように形成するかを説明できるとともに，共有電子対と非共有電子対との違いを説明できる。 ・分子式から電子式や構造式を考え，分子の形を推測することができるとともに，配位結合や錯イオンについて説明することができる。 ・結合の極性の有無と分子の形を考え，極性分子か無極性分子か推測することができる。また，極性から溶媒への溶質の溶けやすさを考えることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 提出物を期限内に完成した状態で提出している。				16
	定期考査			○	○		1
3学期	【知識及び技能】 ・化学式を使用できるとともに，原子量，分子量，式量と物質量の知識を身につけている。 ・物質量の概念を用いて，化学変化の量的関係を把握する方法を理解し，知識を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・原子量・分子量・式量と物質量の定義を理解し，物質量を用いた基本的な計算ができる。 ・化学変化には一定の量的関係があることを考察できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・代表的な物質の化学変化に注目し，化学変化の量的関係を物質量と関連付けて考察しようとするとともに，意欲的にそれらを探究しようとする。	・原子量・分子量・式量などの物質量の基本事項を学ばせる。 ・物質量、粒子の個数、体積、質量の関係性を理解させ、計算で求められるようにする。 ・化学反応式は化学反応に関与する物質とその量的関係を表すことを理解させる。 ・化学の進歩の歴史と基本的な法則の発見の経緯について理解させる。	【知識・技能】 ・化学式を使用できるとともに，原子量，分子量，式量と物質量の知識を身につけている。 ・物質量の概念を用いて，化学変化の量的関係を把握する方法を理解し，知識を身につけている。 【思考・判断・表現】 ・原子量・分子量・式量と物質量の定義を理解し，物質量を用いた基本的な計算ができる。 ・化学変化には一定の量的関係があることを考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 提出物を期限内に完成した状態で提出している。				10
	定期考査			○	○		1
							合計 70

年間授業計画

高等学校 令和７年度（１学年用） 教科：保健体育　科目：体育

教　科：　保健体育　　科　目：　体育　　単位数：　3　単位

対象学年組：第　１学年　Ａ 組～　Ｇ 組

教科担当者：池上・遠藤・山中

使用教科書：（ なし　　）

教科　　保健体育　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】 運動特性に応じた技能、社会生活における健康・安全について理解し、技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、解決に向けて思考、判断し他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 継続した運動実践、健康の保持増進と体力の向上、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目　体育　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通し、運動の楽しさや喜びを味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性を理解し身につけるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通じ、公正に取り組み協力し、自己の責任を果たし、生涯にわたって運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
１学期	陸上競技 【知識及び技能】 記録と体力の向上 【思考力、判断力、表現力等】 自己と仲間の課題発見 【学びに向かう力、人間性等】 主体的な取組み、安全確保	走り幅跳び ・助走と跳躍技術 ・測定方法 ターボジャブ投げ ・助走と投擲動作 １５００ｍ走 ・ペース配分と走フォーム	【知識・技能】 自己に適した動作や競技を行っている。 【思考・判断・表現】 課題に応じた練習を行っている。 【主体的に学習に取り組む態度】 課題や目標に主体的に取り組んでいる。	○	○	○	6
	球技（ネット型） 【知識及び技能】 技術と体力の向上 【思考力、判断力、表現力等】 自己と仲間の課題発見 【学びに向かう力、人間性等】 主体的な作戦考案と試合運営	バレーボール ・個人的技術（サーブ、パス、スパイク、レシーブ） ・集団的技能（試合） ・試合運営と審判法	【知識・技能】 役割に応じたボール操作ができる。 【思考・判断・表現】 攻防など課題解決への工夫をしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 作戦などの話し合いに積極的である。	○	○	○	6
	水泳 【知識及び技能】 技術と体力の向上 【思考力、判断力、表現力等】 自己と仲間の課題発見 【学びに向かう力、人間性等】 主体的な取組み、安全確保	クロール ・手足の動き、呼吸法、測定 平泳ぎ ・手足の動き、呼吸法、測定	【知識・技能】 手足の動きや呼吸を安定させて泳げる。 【思考・判断・表現】 泳法などの課題解決を工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 技術の取得に積極的である。	○	○	○	4
	球技（ネット型） 【知識及び技能】 技術と体力の向上 【思考力、判断力、表現力等】 自己と仲間の課題発見 【学びに向かう力、人間性等】 主体的な試合運営	バドミントン ・個人的技術（サーブ、ドロップ、ハイクリアー、スシュ、レシーブ） ・集団的技能（試合） ・試合運営と審判法	【知識・技能】 局面に応じたラケット操作ができる。 【思考・判断・表現】 攻防など課題解決への工夫をしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 作戦などの話し合いに積極的である。	○	○	○	4
２学期	水泳 【知識及び技能】 技術と体力の向上 【思考力、判断力、表現力等】 自己と仲間の課題発見 【学びに向かう力、人間性等】 主体的な取組み、安全確保	クロール ・手足の動き、呼吸法、測定 平泳ぎ ・手足の動き、呼吸法、測定	【知識・技能】 手足の動きや呼吸を安定させて泳げる。 【思考・判断・表現】 泳法などの課題解決を工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 技術の取得に積極的である。	○	○	○	4
	球技（ネット型） 【知識及び技能】 技術と体力の向上 【思考力、判断力、表現力等】 自己と仲間の課題発見 【学びに向かう力、人間性等】 主体的な試合運営	バドミントン ・個人的技術（サーブ、ドロップ、ハイクリアー、スシュ、レシーブ） ・集団的技能（試合） ・試合運営と審判法	【知識・技能】 局面に応じたラケット操作ができる。 【思考・判断・表現】 攻防など課題解決への工夫をしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 作戦などの話し合いに積極的である。	○	○	○	10
	体つくり運動 【知識及び技能】 運動の意義への気づき 【思考力、判断力、表現力等】 自己と仲間の課題発見 【学びに向かう力、人間性等】 主体的な取組み、安全確保	持久走 ・心拍数の測り方 ・自身に合う走り方 ・適切なペース配分	【知識・技能】 運動を継続する意義を理解している。 【思考・判断・表現】 課題解決に向けた工夫をしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ペース配分などを主体的に学んでいる。	○	○	○	6 合計 40
３学期	球技（ゴール型） 【知識及び技能】 技術と体力の向上 【思考力、判断力、表現力等】 自己と仲間の課題発見 【学びに向かう力、人間性等】 主体的な試合運営	サッカー ・個人的技術（ドリブル、パス、シュート） ・集団的技能（試合） ・試合運営と審判法	【知識・技能】 局面に応じたボール操作ができる。 【思考・判断・表現】 攻防など課題解決への工夫をしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 作戦などの話し合いに積極的である。	○	○	○	6
	体つくり運動 【知識及び技能】 心身の状態への気づき 【思考力、判断力、表現力等】 自己と仲間の課題発見 【学びに向かう力、人間性等】 主体的な取組み、安全確保	持久走 ・心拍数の測り方 ・自身に合う走り方 ・適切なペース配分	【知識・技能】 運動を継続する意義を理解している。 【思考・判断・表現】 課題解決に向けた工夫をしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ペース配分などを主体的に学んでいる。	○	○	○	6 合計 92

年間授業計画

高等学校 令和７年度（１学年用） 教科：保健体育　科目：保健

教　科：　保健体育　　科　目：　保健　　単位数：　1　単位

対象学年組：第　１学年　Ａ 組～　Ｇ 組

教科担当者：遠藤・山中

使用教科書：（ 大修館　現代高等保健体育701 ）

教科　保健体育　の目標：

【知識及び技能】 運動特性に応じた技能、社会生活における健康・安全について理解し、技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自他や社会の課題を発見し、解決に向けて思考、判断し他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 継続した運動実践、健康の保持増進と体力の向上、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目　保健　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、知識を身に付けるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	現代社会と健康 【知識及び技能】 国民の健康課題への理解 【思考力、判断力、表現力等】 国民の健康課題への思考や判断 【学びに向かう力、人間性等】 学習への主体的な取り組み	「健康の考え方と成り立ち」 「私たちの健康のすがた」 「生活習慣病の予防と回復」 「がんの原因と予防」 「がんの治療と回復」	【知識・技能】 国民の健康課題について理解している 【思考・判断・表現】 国民の健康課題について思考、判断している 【主体的に学習に取り組む態度】 国民の健康課題について主体的に学んでいる	○	○	○	5
	現代社会と健康 【知識及び技能】 健康の保持増進への理解 【思考力、判断力、表現力等】 健康の保持増進への思考や判断 【学びに向かう力、人間性等】 学習への主体的な取り組み	「運動と健康」 「食事と健康」 「休養・睡眠と健康」 「喫煙と健康」 「飲酒と健康」	【知識・技能】 健康の保持増進について理解している 【思考・判断・表現】 健康の保持増進について思考、判断している 【主体的に学習に取り組む態度】 健康の保持増進について主体的に学んでいる	○	○	○	5
	定期考査			○	○		
2学期	現代社会と健康 【知識及び技能】 薬物や精神疾患への理解 【思考力、判断力、表現力等】 薬物や精神疾患への思考や判断 【学びに向かう力、人間性等】 学習への主体的な取り組み	「薬物乱用と健康」 「精神疾患の特徴」 「精神疾患の予防」 「精神疾患からの回復」	【知識・技能】 薬物や精神疾患について理解している 【思考・判断・表現】 薬物や精神疾患について思考、判断している 【主体的に学習に取り組む態度】 薬物や精神疾患について主体的に学んでいる	○	○	○	6
	現代社会と健康 【知識及び技能】 感染症などへの理解 【思考力、判断力、表現力等】 感染症などへの思考判断 【学びに向かう力、人間性等】 学習への主体的な取り組み	「現代の感染症」 「感染症の予防」 「性感染症・エイズとその予防」 「健康に関する意思決定・行動選択」 「健康に関する環境づくり」	【知識・技能】 感染症などについて理解している 【思考・判断・表現】 感染症などについて思考、判断している 【主体的に学習に取り組む態度】 感染症などについて主体的に学んでいる	○	○	○	6
	定期考査			○	○		
3学期	安全な社会生活 【知識及び技能】 交通や応急手当への理解 【思考力、判断力、表現力等】 交通や応急手当への思考判断 【学びに向かう力、人間性等】 学習への主体的な取り組み	「事故の現状と発生要因」 「安全な社会の形成」 「交通における安全」 「応急手当の意義とその基本」 「日常的な応急手当」 「心肺蘇生法」	【知識・技能】 交通や応急手当について理解している 【思考・判断・表現】 交通や応急手当について思考、判断している 【主体的に学習に取り組む態度】 交通や応急手当について主体的に学んでいる	○	○	○	6 合計 28
	定期考査			○	○		

年間授業計画

高等学校 令和7年度（１学年用） 教科 外国語 科目 英語コミュニケーションⅠ

教　科： 外国語　　科　目： 英語コミュニケーションⅠ　　単位数： 3 単位

対象学年組：第 １学年 A 組～ G 組

教科担当者： （A組：野澤・友金）（B組：友金・甘利）（E組：甘利・野澤）（F組：甘利・野澤）（G組：野澤・甘利）

使用教科書： （ VISTA English Communication Ⅰ(三省堂) ）

教科　外国語　　の目標：

【知識及び技能】英語を読み、聞き、話し、書くうえで必要な文法、構文や語彙を身につける。また、言語背景にある文化や成り立ちについて知り、語学を切り口に日本以外のの文化や世界への興味・関心を醸成する。

【思考力、判断力、表現力等】英語を読み、聞き、話し、書く中で適切な表現を知り、活用することができる。また題材に即した内容で、自分の考えを表現することができる。

【学びに向かう力、人間性等】未知の言語に対して間違いを恐れずに取り組むことができ、また語学がもつ曖昧さや複雑さに柔軟に対応し、他者との関わりに主体的で前向きな姿勢で臨んでいる。

科目　英語コミュニケーションⅠ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
英語の５領域を伸ばしていくうえで必要な文法事項を理解し、かつ必要な語彙を十分に身につけている。	まとまった文章を読んだり、学んだ文法事項や英単語から適切なものを選び組み合わせて単文を作る能力、また題材や指示に従って、まとまりのある文章を論理的に組み立てることができる能力を養う。	他者と会話を続けたり、伝わるように意識しながら文章を書くなど、人と関わり合う、主体的かつ協働する

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域 聞	読	話［や］	話［発］	書	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	【知識及び技能】 英語の文のbe動詞、一般動詞を理解し、実際に読んだり書いたり話したりすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 理解したbe動詞、一般動詞を用い、知っている単語をあてはめて実際に質問したり答えたり会話を続けることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 他者と会話を続けたり、伝わるよう に意識しながら文章を書くなど、人	Lesson 1 Color of Spring ・春のイメージカラーの国による違いを知る。 ・be動詞、一般動詞の現在形を理解する。 ・色や春についてやりとりする。	○	○	○		○	【知識及び技能】 英語の文のbe動詞、一般動詞を理解し、実際に読んだり書いたり話したりしている。 【思考力、判断力、表現力等】 理解したbe動詞一般動詞を用い、知っている単語をあてはめて実際に質問したり答えたり会話を続けている。 【学びに向かう力、人間性等】 他者と会話を続けるために関わり合う、主体的かつ協働しようとしている。	○	○	○	15
	定期考査			○			○		○	○		1
	【知識及び技能】 英語の一般動詞過去形を理解し、実際に読んだり書いたり話したりすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 理解した一般動詞過去形を使いながら、知っている単語をあてはめて実際に質問したり答えたり会話を続けることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 他者と会話を続けたり、伝わるよう に意識しながら文章を書くなど、人	Lesson 2 Dick Brune ・「ミッフィー」の生みの親、ディック・ブルーナについて知る。 ・be動詞、一般動詞の過去形を理解する。 ・キャラクターや本についてやりとりする。	○	○		○	○	【知識及び技能】 英語の一般動詞過去形を理解し、実際に読んだり書いたり話そうとしている。 【思考力、判断力、表現力等】 理解した一般動詞過去形を使いながら、知っている単語をあてはめて実際に質問したり答えたり会話を続けようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 他者と会話を続けたり、伝わるように意識しながら文章を書くなど、人と関わり合う、主体的かつ協働しようとしている。	○	○	○	18
	定期考査			○			○		○	○		1
2学期	【知識及び技能】 英語の進行形を理解し、実際に読んだり書いたり話したりすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 進行形を用いてスポーツや過去の行動について相手に伝えられることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 スポーツの面白さを再認識することができる。	Lesson 3 Interesting sports ・スラックラインやバブルサッカーといったユニークな競技を知る。 ・現在進行形や過去進行形を理解する。 ・スポーツや過去の行動についてやりとりする。	○	○		○	○	【知識及び技能】 英語の進行形を理解し、実際に読んだり書いたり話そうとしている。 【思考力、判断力、表現力等】 進行形を用いてスポーツや過去の行動について相手に伝得ようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 スポーツの面白さを再認識しようとしている。	○	○	○	20
	定期考査			○			○		○	○		1
	【知識及び技能】 英語の助動詞、動名詞を理解し、実際に読んだり書いたり話したりすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 助動詞や動詞、動名詞を使い分けながら自分の思いを表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 国際社会におけるピクトグラムの役割を理解できる。	Lesson 4 Pictograms ・オリンピック競技などに見られるピクトグラムについて学ぶ。 ・助動詞、動名詞を理解する。 ・ジェスチャーについて聞き、やり取りをする。	○	○	○		○	【知識及び技能】 英語の助動詞、動名詞を理解し、実際に読んだり書いたり話そうとしている。 【思考力、判断力、表現力等】 助動詞や動詞、動名詞を使い分けながら自分の思いを表現しようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 国際社会におけるピクトグラムの役割を理解しようとしている。	○	○	○	25
	定期考査			○			○		○	○		1

3学期	【知識及び技能】 英語の不定詞を理解し、実際に読んだり書いたり話したりすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 不定詞の意味を使い分けながら自分の思いを表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 世界で活躍する人物や自然環境について考えを深めることができ	Lesson 5 We are part of Nature ・動物写真家の岩合光昭さんの写真の秘訣や自然への思いを学ぶ。 ・不定詞を理解する。 ・ポスターについてやり取りし、原稿を書いて発表する。	○	○	○		○	【知識及び技能】 英語の不定詞を理解し、実際に読んだり書いたり話そうとしている。 【思考力、判断力、表現力等】 不定詞の意味を使い分けながら自分の思いを表現しようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 世界で活躍する人物や自然環境について考えを深めようとしている。	○	○	○	22
	定期考査			○			○		○	○		1 合計 105

年間授業計画

高等学校 令和7年度（１学年用） 教科 芸術 科目 書道Ⅰ

教　科： 芸術　　科　目： 書道Ⅰ　　単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ G 組

教科担当者：（A・B・E・F・G組：坂本みどり）

使用教科書：書道Ⅰ（東京書籍）

教科 芸術 の目標：

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに，意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり，芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに，感性を高め，心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い，豊かな情操を培う。

科目 書道Ⅰ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書の表現の方法や形式，多様性などについて幅広く理解するとともに，書写能力の向上を図り，書の伝統に基づき，効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。	書のよさや美しさを感受し，意図に基づいて構想し表現を工夫したり，作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え，書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。	主体的に書の幅広い活動に取り組み，生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに，感性を高め，書の伝統と文化に親しみ，書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現 漢仮	表現 漢	表現 仮	鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	A 楷書 【知識及び技能】 ・国語科の中の書写と芸術科の中の書道の違いを理解し、表現することができる。 ・硬筆（ボールペン）での書き方を理解し、表現することができる。 ・毛筆での書く姿勢、執筆法を正しく理解し、実践することができる。 ・視聴教材において書道における基本的知識をしっかり学び理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・用具、用材の特徴と表現効果との関わりについて理解している。 ・楷書のきっちりとした線質による表現の技能が身に付いている。 ・中学校書写で学んだ漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、全体の構成が表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・毎時間に取り組む課題を時間内に仕上げ提出することができている。 ・丁寧に真剣に文字と向き合い表現することができている。 ・自己表現の追求の為、他者（友だち）との会話、出歩きをせずに課題に取り組む（居眠りも含む）ことができている。	・指導事項 ・教材	○	○	○		【知識・技能】 ・書写と書道の相違点を理解し、十分に表現できている。 ・枠内に手本に似せてバランス良く表現できている。 ・正しい姿勢、執筆法を理解し、実践できている。 ・視聴教材において書道における基礎的知識を十分に理解できている。 【思考・判断・表現】 ・用具、用材のそれぞれの特徴を理解し、効果的に使うことができている。 ・楷書の基本用筆法を理解し、表現できている。 ・中学校書写で学んだ漢字、仮名の表現ができている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・毎時間に取り組む課題が時間内に仕上げることができ、提出できている。 ・丁寧に真剣に文字と向き合い表現することができている。 ・時間内、おしゃべり、出歩き、居眠りなどすることなくしっかり作品（課題）に取り組むことができている。	○	○	○	20
2学期	B行書 【知識及び技能】 ・中国や日本の古典の名品を学ぶ（臨書）ことにより、書体と用筆、運筆との関わりについて理解し、表現できている。 ・行書の用筆法、運筆、文字の形のとり方、バランスが理解でき表現できている。 ・線質、字形、構成の要素と表現効果や風趣との関わりが理解、表現できている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・行書の用筆法、運筆、文字の形のとり方を理解し、イメージを持ち工夫している。 ・行書の古典の価値とその根拠について考え、漢字の書のよさや美しさを味わって捉えている。 ・自身の表現の意図に基づく表現を主体的に取り組もうとしている（創作作品）。 【学びに向かう力、人間性等】 ・毎時間に取り組む課題を時間内に仕上げ提出することができている。 ・丁寧に真剣に文字と向き合い表現することができている。 ・自己表現の追求の為、他者（友だち）との会話、出歩きをせずに課題に取り組む（居眠りも含む）ことができている。	・指導事項 ・教材	○	○	○		【知識・技能】 ・中国の名品を臨書することにより、用筆、運筆、字形が形臨できている。 ・行書の用筆法、運筆、文字の形のとり方、バランスが理解でき、表現できている。 ・線質、字形、構成の要素と表現効果や風趣との関わりが理解でき、表現できている。 【思考・判断・表現】 ・行書の用筆法、運筆、字形のとり方を理解し、イメージを持ち工夫できている。 ・行書の古典の価値とその根拠について考え、漢字の書のよさや美しさを味わって捉えることができている。 ・自身の表現の意図に基づく表現を主体的に取り組もうと努めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・毎時間に取り組む課題が時間内に仕上げることができ、提出できている。 ・丁寧に真剣に文字と向き合い表現することができている。 ・時間内、おしゃべり、出歩き、居眠りなどすることなくしっかり作品（課題）に取り組むことができている。	○	○	○	35

	３学期	C仮名、創作 【知識及び技能】 ・日本の文字と書の伝統と文化、仮名の成立と変遷について理解し、表現できている。 ・仮名の用筆法、運筆、仮名の基本である「いろは歌」の文字、字形を理解し、正しく書けている。 ・漢字仮名交じりの書を学ぶことにより言葉と書の調和や風趣を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・仮名の古典の書風に即した用筆、運筆、字形、全体の構成について構想し、工夫している。 ・文字（ひらがな）の基本である「いろは歌」の字形を覚え書けるようにする。 ・漢字仮名交じりの書で、自身の書きたい文章、詩などを選文し、紙との調和を考え自身の内面、思いなどを表現できている。 【学びに向かう力、人間性等】 ・毎時間に取り組む課題を時間内に仕上げ提出できている。 ・丁寧に真剣に文字と向き合い表現することができている。 ・自己表現の追求の為、他者（友だち）との会話、出歩きをせずに課題に取り組む（居眠りも含む）ことができている。	・指導事項 ・教材	○ ○ ○		【知識・技能】 ・日本の文字と書の伝統と文化、仮名の成立と変遷について理解できている。 ・仮名の用筆法、運筆、仮名の基本である「いろは歌」の文字、字形を理解し、正しく書くことができている。 ・漢字仮名交じりの書を学ぶことにより、言葉と書の調和や風趣を理解できている。 【思考・判断・表現】 ・仮名の古典の書風に即した用筆、運筆、字形、全体の構成について構想し工夫できている。 ・「いろは歌」48文字プラス氏名を楷書でしっかり書くテストで、正しく書くことができる。 ・創作作品として半切に自分の書きたい文字を調和させ、内面の表現を効果的に表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・毎時間に取り組む課題が時間内に仕上げることができ、提出できている。 ・丁寧に真剣に文字と向き合い表現することができている。 ・時間内、おしゃべり、出歩き、居眠りなどすることなくしっかり作品（課題）に取り組むことができている。				15 合計 70	

年間授業計画

高等学校 令和7年度（１学年用） 教科　芸術　　科目 美術Ⅰ

教　科：芸術　　科　目：美術Ⅰ　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　１学年　Ａ 組～　Ｇ 組

教科担当者：（古川　仁史）

使用教科書：（ 美術Ⅰ（光村図書出版著）　　）

教科　芸術　　の目標：

【知識及び技能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに，意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり，芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに，感性を高め，心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い，豊かな情操を培う。

科目　美術Ⅰ　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに，意図に応じて表現方法を創意工夫し，創造的に表すことができるようにする。	造形的なよさや美しさ，表現の意図と創意工夫，美術の働きなどについて考え，主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり，価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み，生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに，感性を高め，美術文化に親しみ，心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現 絵・彫	表現 デ	表現 映	鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	【知識及び技能】 ①鉛筆による点描、線描、塗りを的確に描くことが出来る。 ②レタリング練習で、指示されたやり方で正確に各書体を写し取ることが出来る。 ③ポスター制作において、説明された内容をよく理解し、主題に沿った内容を的確に生かしたアイデアスケッチを描くことが出来る。	・指導事項 ・教員、生徒自己紹介。授業を受けるに当たっての諸注意。 ・１年間の授業予定等 ・教科書の作品から自分の好きな作品を選びそれを別紙に模写する ・５分割、９分割の明暗を鉛筆で描き分ける ・紙に３㎜間隔の曲線のドローイング ・始めに、何も指示せず描かせる。 ・次に輪の中から観察して描くように指示 ・観察して描くことの重要さを理解させる ・八つ切りケント紙に作成 ・資料集め、画面構成、文字レイアウト等を考える ・資料集め、画面構成、文字レイアウト等を考える ・配色への考慮、筆の使い分け、ぬりを考える	○	○	○		【知識及び技能】 ①鉛筆による点描、線描、塗りを概ね描くことが出来た。 ②指示されたやり方で概ね各書体を写し取ることが出来た。 ③説明された内容をだいたい理解し、不足部分があったが、主題に沿った内容を概ね描くことが出来た。	○			20
	【思考力、判断力、表現力等】 ①ポスター制作において、説明された制作工程を理解し、工程通りに「主題」を考え、それを表現することが出来る。②ポスター制作において、内容をよく理解し、主題に沿った「文字と絵の配置」と「絵の構成」を考え表現することが出来る。 ③ポスター制作「着彩」において、説明された「文字と絵の明度差」、「混色の重要」等を理解して制作し、作品で表現することが出来る。						【思考力、判断力、表現力等】 ①説明された課題の制作工程を概ね理解し、工程通りに主題を考え、それを生かして制作することが概ね出来ている。 ②課題内容をだいたい理解し、主題に沿った「文字と絵の配置」と「絵の構成」が、不足はあるが概ね出来た。 ③説明された「文字と絵の明度差」、「混色の重要」等をだいたい理解して概ね制作することが出来た。		○		
	【主体的に学習に取り組む態度】 ①美術への興味、関心があり、どんな課題でも楽しんで制作に取り組もうとしている。 ②授業全般、教員の説明をよく聞き、集中して、意欲的に制作に取り組もうとしている。						【主体的に学習に取り組む態度】 ①美術への興味、関心が少しあり、課題では概ね楽しんで制作に取り組んでいた。 ②授業全般、教員の説明を概ね聞き、時間内大体集中して、制作に取り組んでいた。			○	
2学期	【知識及び技能】 ①木彫課題「アイデアスケッチ」では、課題説明をよく聞き、「木の特性」、「鏡の配置」を理解し、アイデアスケッチを描くことが出来る。 ②木彫課題の「彫り」では、指示に従い、彫刻刀の使い方を理解して、的確な制作が出来る。 ③木彫課題「着彩」では、課題内容を理解し、正確に着彩することが出来る。	・題材の用途、木の特質についての説明と理解 ・課題参考作品鑑賞による作品への理解 ・制作工程を理解する	○	○	○		【知識及び技能】 ①課題説明をよく聞き、「木の特性」、「鏡の配置」を理解し、アイデアスケッチを大体描くことが出来る。 ②指示に従い、彫刻刀の使い方をほぼ理解しているが、的確な制作は今一歩。 ③課題内容を概ね理解し、大体着彩することが出来る。	○			35
	【思考力、判断力、表現力等】 ①木彫課題では、課題説明をよく聞き、制作工程を理解し、工程通りに「主題」を考え、それを生かして制作することが出来る。 ②木彫課題「アイデアスケッチ」では、課題説明をよく聞き、「鏡の配置」を理解して、構成することが出来る。						【思考力、判断力、表現力等】 ①木彫課題では、課題説明をよく聞き、制作工程を理解し、工程通りに「主題」を考え、それを生かして制作することが出来る。 ②木彫課題「アイデアスケッチ」では、課題説明をよく聞き、「鏡の配置」を理解して、構成することが出来る。		○		
	【主体的に学習に取り組む態度】 ①美術への興味、関心があり、どんな課題でも楽しんで制作に取り組もうとしている。 ②授業全般、教員の説明をよく聞き、集中して、意欲的に制作に取り組もうとしている。						【主体的に学習に取り組む態度】 ①美術への興味、関心が少しあり、課題では概ね楽しんで制作に取り組んでいた。 ②授業全般、教員の説明を概ね聞き、時間内大体集中して、制作に取り組んでいた。			○	

3学期	【知識及び技能】 ①フィギア制作課題「アイデアスケッチ」では、課題説明をよく聞き、「立体制作の決まり」、「人体の特性」、「プロポーション」を理解し、アイデアスケッチを描くことが出来る。 ②フィギア制作課題では、アイデアスケッチに基づいて、正確に心材を作成出来た。 ③フィギア制作課題では、課題説明をよく聞き、粘土による的確な肉付けと着彩が出来た。	・人体のプロポーションについての理解 ・ムーブマンについての理解 ・制作工程を理解する ・各制作工程で使用する用具・材料を理解する	○	○	○		【知識及び技能】 ①課題説明をよく聞き、「立体制作の決まり」、「人体の特性」、「プロポーション」を理解し、アイデアスケッチを描くことが出来る。 ②フィギア制作課題では、アイデアスケッチに基づいて、正確に心材を作成出来た。 ③フィギア制作課題では、課題説明をよく聞き、粘土による的確な肉付けと着彩が出来た。	○			15
	【思考力、判断力、表現力等】 ①フィギア制作課題では、課題説明をよく聞き、制作工程全般を理解し、アイデアスケッチから完成まで考え。計画的に制作することが出来た。 ②フィギア制作課題では、他にない独自の表現で制作することが出来た。						【思考力、判断力、表現力等】 ①フィギア制作課題では、課題説明をよく聞き、制作工程全般を理解し、アイデアスケッチから完成まで考え。計画的に制作することが出来た。 ②フィギア制作課題では、他にない独自の表現で制作することが出来た。		○		
	【主体的に学習に取り組む態度】 ①美術への興味、関心があり、どんな課題でも楽しんで制作に取り組もうとしている。 ②授業全般、教員の説明をよく聞き、集中して、意欲的に制作に取り組もうとしている。						【主体的に学習に取り組む態度】 ①美術への興味、関心が少しあり、課題では概ね楽しんで制作に取り組んでいた。 ②授業全般、教員の説明書かず、集中せず、意欲もなく制作していた。			○	合計 70